

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	家庭教育支援事業	会計	一般会計	事業No.	775	施策順No.	24-006
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-5-4-11-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	公民館		
施策	24 家庭教育の充実			事業期間	開始	18	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	学齢期の子を持つ親						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		小中学校の家庭数(戸) ※H22は11月1日現在値	7554	7530	7406	7289		
	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	
対象をどう変えるか	基本的な生活習慣が習得できた小学生の割合(小学生の生活アンケートより)(%)	51.8	50.4	48.5	65	52.9	70	C
	講座参加者延べ人数(人)	4917	6235	6834	6500	6515	6500	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		23年度の目標値70%という数値は、前期基本計画スタート時の数値からみても極めて高い。このアンケートの設問は平成18年に初めて調査したときは、「朝トイレによってくるか」という設問だったが平成19年度から「朝ウンチをしてくるか」に変えた経緯もあり、実績数値も約10ポイント低下した。19年度以降は同じ設問で実施し、数値は毎年漸減傾向にあったが、平成22年度に初めて4ポイント向上した。平成23年度の調査結果を見て総括する必要がある。						

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 学校・PTA・育成会等の関係機関と連携し、子どもの教育の課題を地域ぐるみで解決する家庭教育に関する学級・講座、講演会等の実施(全地区公民館)。 小学生の基本的な生活習慣の習得状況等を把握するため市内全小学校の児童を対象とした生活アンケートの実施(H19に飯田女子短大と連携し、市内全小学校の5・6年生の児童と保護者を対象に食育や家庭教育の課題に関する共同調査・研究を踏まえた継続的な調査)。 「子育て結いフォーラム(飯田の子どもを考える市民のつどい)」の開催。 									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業内容</th> <th>名称</th> <th>活動量・単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 学級・講座、講演会等学習活動の実施。(全地区公民館) 【橋北】合唱劇カネト浜井場小学校公演、【橋南】夏休み子ども教室、親子科学実験教室「ふしぎな超低温の世界」、【羽場】書初め大会、お餅つきと新年会、【丸山】家庭教育講演会、もちつき・昔あそび交流会、【東野】親子のスポーツ交流会、お正月行事、【座光寺】座光寺の子どもを語る会連絡会、子ども料理教室他、【松尾】親子木工教室、親子運動遊び実践教室他、【下久堅】親子体験学習、護身の為の受け身教室他、【上久堅】上久堅小学校PTA・公民館共催講演会、家庭教育講座、【千代】家庭教育講演会、家庭教育講座、【龍江】家庭教育講座、食育体験講座他、【竜丘】水辺の学校、家庭教育講演会、【川路】親子運動遊び実践教室、子どもの料理教室、【三穂】家庭教育講座、人権平和学習会、【山本】家庭教育講演会、家族体験教室、【伊賀良】いがら農園、子育て講演会他、【鼎】家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」)、かなえつこどつきスクール、【上郷】家庭教育支援講演会、PTA講演会他、【上村】小学校PTA共催講演会・総合学習発表会、【南信濃】PTA合同講演会 2 「小学生の生活アンケート」の実施(対象:1年～6年) (飯田市民館) 3 第5回「子育て結いフォーラム」の開催 (飯田市民館)</td> <td>1 講座等開催数 2 回答者数 3 参加者数</td> <td>1 155回 2 2,447人 3 155人</td> </tr> <tr> <td>1 学級・講座、講演会等学習活動の実施。(全地区公民館) 2 「小学生の生活アンケート」の実施。(対象:1年～6年) 3 「子育て結いフォーラム」の開催。</td> <td>1 講座等開催数 2 回答者数 3 参加者数</td> <td>1 150回 2 2,400人 3 100人</td> </tr> </tbody> </table>	事業内容	名称	活動量・単位	1 学級・講座、講演会等学習活動の実施。(全地区公民館) 【橋北】合唱劇カネト浜井場小学校公演、【橋南】夏休み子ども教室、親子科学実験教室「ふしぎな超低温の世界」、【羽場】書初め大会、お餅つきと新年会、【丸山】家庭教育講演会、もちつき・昔あそび交流会、【東野】親子のスポーツ交流会、お正月行事、【座光寺】座光寺の子どもを語る会連絡会、子ども料理教室他、【松尾】親子木工教室、親子運動遊び実践教室他、【下久堅】親子体験学習、護身の為の受け身教室他、【上久堅】上久堅小学校PTA・公民館共催講演会、家庭教育講座、【千代】家庭教育講演会、家庭教育講座、【龍江】家庭教育講座、食育体験講座他、【竜丘】水辺の学校、家庭教育講演会、【川路】親子運動遊び実践教室、子どもの料理教室、【三穂】家庭教育講座、人権平和学習会、【山本】家庭教育講演会、家族体験教室、【伊賀良】いがら農園、子育て講演会他、【鼎】家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」)、かなえつこどつきスクール、【上郷】家庭教育支援講演会、PTA講演会他、【上村】小学校PTA共催講演会・総合学習発表会、【南信濃】PTA合同講演会 2 「小学生の生活アンケート」の実施(対象:1年～6年) (飯田市民館) 3 第5回「子育て結いフォーラム」の開催 (飯田市民館)	1 講座等開催数 2 回答者数 3 参加者数	1 155回 2 2,447人 3 155人	1 学級・講座、講演会等学習活動の実施。(全地区公民館) 2 「小学生の生活アンケート」の実施。(対象:1年～6年) 3 「子育て結いフォーラム」の開催。	1 講座等開催数 2 回答者数 3 参加者数	1 150回 2 2,400人 3 100人
事業内容	名称	活動量・単位								
1 学級・講座、講演会等学習活動の実施。(全地区公民館) 【橋北】合唱劇カネト浜井場小学校公演、【橋南】夏休み子ども教室、親子科学実験教室「ふしぎな超低温の世界」、【羽場】書初め大会、お餅つきと新年会、【丸山】家庭教育講演会、もちつき・昔あそび交流会、【東野】親子のスポーツ交流会、お正月行事、【座光寺】座光寺の子どもを語る会連絡会、子ども料理教室他、【松尾】親子木工教室、親子運動遊び実践教室他、【下久堅】親子体験学習、護身の為の受け身教室他、【上久堅】上久堅小学校PTA・公民館共催講演会、家庭教育講座、【千代】家庭教育講演会、家庭教育講座、【龍江】家庭教育講座、食育体験講座他、【竜丘】水辺の学校、家庭教育講演会、【川路】親子運動遊び実践教室、子どもの料理教室、【三穂】家庭教育講座、人権平和学習会、【山本】家庭教育講演会、家族体験教室、【伊賀良】いがら農園、子育て講演会他、【鼎】家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」)、かなえつこどつきスクール、【上郷】家庭教育支援講演会、PTA講演会他、【上村】小学校PTA共催講演会・総合学習発表会、【南信濃】PTA合同講演会 2 「小学生の生活アンケート」の実施(対象:1年～6年) (飯田市民館) 3 第5回「子育て結いフォーラム」の開催 (飯田市民館)	1 講座等開催数 2 回答者数 3 参加者数	1 155回 2 2,447人 3 155人								
1 学級・講座、講演会等学習活動の実施。(全地区公民館) 2 「小学生の生活アンケート」の実施。(対象:1年～6年) 3 「子育て結いフォーラム」の開催。	1 講座等開催数 2 回答者数 3 参加者数	1 150回 2 2,400人 3 100人								

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金			
		県支出金			
一般財源	起債				特定財源内訳、補足事項
	その他				
		1,891	1,330	1,796	
	計(A)	1,891	1,330	1,796	
	正規職員所要時間		1,333		
	臨時職員等所要時間		511		
	人件費計(B)		5,316		
	トータルコスト A+B		6,646		

4 事業に対する市民や議会の意見

・「核家族化の進行や共働きに伴い、家庭の教育力が落ちているので、親の教育について取り組む必要がある。」「家庭教育を公民館事業に頼ることなく、学校、PTA、育成会等で展開していく必要がある。」と議会からの提言がある。
 ・実行委員会形式の事業であれば、当事者の参加を大事にすることや公募委員を積極的に活用することや公募委員を積極的に活用すること。ボランティアを育成することは長期的には効果的である、と基本構想基本計画推進委員会からの意見がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①基本的なしつけができる ②公共心、社会性が育つ ③親子のコミュニケーションが図られる	施策の成果指標又はムトス指標	基本的な生活習慣を習得している小学生の割合 家庭教育に関する学級講座開催回数(ムトス指標)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	学齢期の子を持つ親を対象に家庭教育講座などを展開したことは、家庭教育の主体である親(家族)への意識付けの機会として機能してきた。		
	後期に向けた課題	「基本的生活習慣」の習得度のチェック項目として「朝食」「排便」「ひとりで起床」「朝のあいさつ」「朝の身支度」の5つで把握しており、把握方法も含めて再検討の余地がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	学習の機会を小学校との連携により講演会を共催するなど、より多くの親が家庭教育を考える機会を提供してきた。		
	後期に向けた課題	今後も学校(含PTA)との連携して効果的な事業の展開が必要となる。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	講師謝礼など学校やPTAと共催することで費用分担も図った。		
	後期に向けた課題	特になし。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	家庭教育は改正された教育基本法に新たに盛り込まれ、教育分野の1つの柱となっているので、公民館は、学習と交流の機会を提供することで、親子のふれあいの場となるよう機能していく		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①家庭教育の主体は、各家庭の親(家族)である。子どもへの適なしつけから社会性を身につけさせていく役割を果たしている。 ②公民館は、市民(地域住民)とりわけ親をターゲットに地域内で子どもの健全な発育を図る機会提供をしてきた。		
	後期に向けた課題	引き続き学習の機会、交流の機会を通じた家庭の教育力向上に取り組んでいく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	各公民館で学級講座を中心に展開できたが「23 乳幼児教育の充実」施策とすみ分けを明確にするために、「24 家庭教育の充実」施策の対象が限定的に学童期の子どもを持つ親となり、事業展開の幅も自ずと狭くなっていた。		
	後期に向けた課題	家庭教育は公民館の事業分野でも重点的な領域であるが、公民館の役割は学習と交流を深めることから人づくり・地域づくりの一翼を担っていくことにある。社会教育を担う公民館が、学校教育の関係組織と連携しながら家庭教育の充実をどう図っていくかが課題となる。目的達成に向けた多様な事業の展開は事業展開の現場として公民館が取り組むべきだが、行政の課題として解決に向けた施策展開の進行管理は生涯学習課が所管すべきといえる。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ある	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--